



そらの郷
Sora no sato

山里物語
Yamazato story

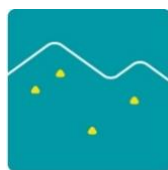


千年のかくれんぼ

Education for sustainable development

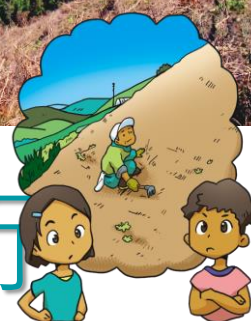
(一社)そらの郷／にし阿波～剣山・吉野川観光圏
徳島県・美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町
全国教育民泊協会／全国ほんもの体験ネットワーク

ほんもの
田舎体験



SDGs 4.7 ESD地方創生プログラム

ESD) 教育旅行

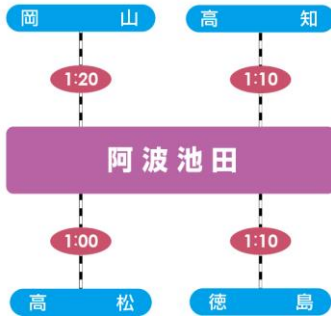


Education for sustainable development
そらの郷は、ESD拠点に登録されており、教育現場としてSDGsを推進しています。



所要時間は便により若干異なります。目安でご利用ください。

(時間：分)



地域連携の取組み

そらの郷



にし阿波
剣山・吉野川観光圏



SAVOR JAPAN
Explore Regional Flavors

～世界に向けて日本の「顔」となる～
持続可能な体験交流観光（サステナブルツーリズム）

にし阿波・そらの郷は、徳島県西部の美馬市、三好市、東みよし町、つるぎ町の2市2町の広域・官民連携で取り組むエリアです。

にし阿波～剣山・吉野川観光圏／DMO法人／ESD拠点

観光立国を目指す日本の「顔」となるべく、国(観光庁)から認定を受けた全国13か所の「観光圏」の1エリアです。(一社)そらの郷はDMO法人及び、地域ESD拠点として、持続可能な観光地域づくりを行っています。

高地集落で受け継がれる伝統的な傾斜地農法や農業文化が備わった「農家民泊（農泊）」で、アクティブラーニングの「新しい観光」提供と、ESDを起点とするSDGsに取り組んでいます。

主に、教育旅行、企業研修、ゼミ旅行、インバウンドなどを受入れています。

食と農の景勝地 ～にし阿波・桃源郷～

国(農水省)から認定を受け、農業の6次産業化による農産品ブランディングのほか、急傾斜地にある少量多品目栽培農地において、コミュニティと交流する、自然共生型のライフスタイルに共感していただく旅を創造しています。

これらの経済活動で、伝統農業と地域の維持・保全に寄与し、「食と農の景勝地」の持続を目指しています。



自然循環型農法 『傾斜地農耕システム』



Globally Important
Agricultural Heritage Systems

GIAHS by FAO

- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 15 陸の豊かさも守ろう



にし阿波の山間部では、段々畑のような水平面ではなく、傾斜地のまま耕す農法が継承されてきました。傾斜地では風雨などにより土壌流出が起こります。そのため、コエグロで干したカヤを畑の畝の間に敷き詰めて流出を最小限に食い止めたり、等高線に沿って畝立てしたり、サラエと呼ばれる伝統農具で土上げをするなどして土壌を守ってきました。コエグロとは、秋に収穫したカヤを束ねて円錐形に積み上げたもので、土壌流出を防ぐほか、春には土を育てる肥料として使われており、にし阿波傾斜地農耕のシンボルの存在でもあります。土地に負担をかけない自然循環型の農耕は、千年以上の太古の昔より先人から継承されてきました。また、水田を作ることができない急傾斜地は米作りに適さないため、ソバ、アワ、タカキビ、コキビなどの雑穀や伝統野菜、山菜といった少量多品目の作物が栽培されてきました。この地域の作物は先祖より大切に採取・保存されてきた在来種で、貴重な遺伝資源の宝庫です。

千年のかくれんぼ

～分け入るごとに、時は遡り～

そびえたつ山々が悠久の時を閉じ込めたのか。
変わらぬ営みと人のぬくもりが息づくにし阿波、
無垢の里。



千年の
かくれんぼ

今ほふ心もここに静かに響いて、
あふれぬ心もここに静かに響いて、
あふれぬ心もここに静かに響いて、
あふれぬ心もここに静かに響いて、
あふれぬ心もここに静かに響いて、



にし阿波
剣山・吉野川観光圏

A thousand of years, a hidden hamlet

お問い合わせ先

住所：〒778-0005 徳島県三好市池田町シマ995-1
TEL：0883-76-0713 / FAX：0883-72-0753

一般社団法人そらの郷は、地域ESD活動推進拠点であり、観光地域づくり法人（DMO）・旅行業という立場で、行政機関や、にし阿波～剣山・吉野川観光圏、世界農業遺産推進協議会、教育機関、その他各種団体と連携し、ローカルSDGs地方創生をはじめ、2030年SDGs達成を目指し、サステナブルな観光地域づくりに取り組んでいます。

「そらの郷」について

「そら」とは？ 地域紹介

その昔、徳島県の都市部に住む人々は、標高の高い当地のことを「そら」と呼びました。そらの郷の夜空には、民家ポタルが星空とひとつとなつて力強く輝いています。

そらの郷は、四国の中央に位置する「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」（美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町）にあります。「大步危・祖谷」や「吉野川」に代表される自然、歴史文化、伝説や伝承、さらに独特の食文化、伝統芸能に彩られた全国屈指の観光地域であると共に、素朴で温かみのある古き良き暮らしが今もなお息づいています。

民泊25年の歴史、地域内190軒、同時受入れ人数約400人。そらの郷の教育民泊家庭は、その多くが山腹の急傾斜地に、張り付くように形成される集落に存在し、特有の文化的景観を形成しています。山畑にコエグロ、石積み、家屋などが、ひとつとなった独特の風景こそが桃源郷とも称される日本の原風景です。生徒たちは家族の一員として迎えられ、茶摘みやタマネギ、ジャガイモ、雑穀の収穫など、サステナブルな自給的農業を協働します。収穫した旬の野菜や山菜を使って田舎料理を共同調理。そして家族団欒の食事での交流。“日本一”の厳しさを豊かさに変える暮らしを学びます。

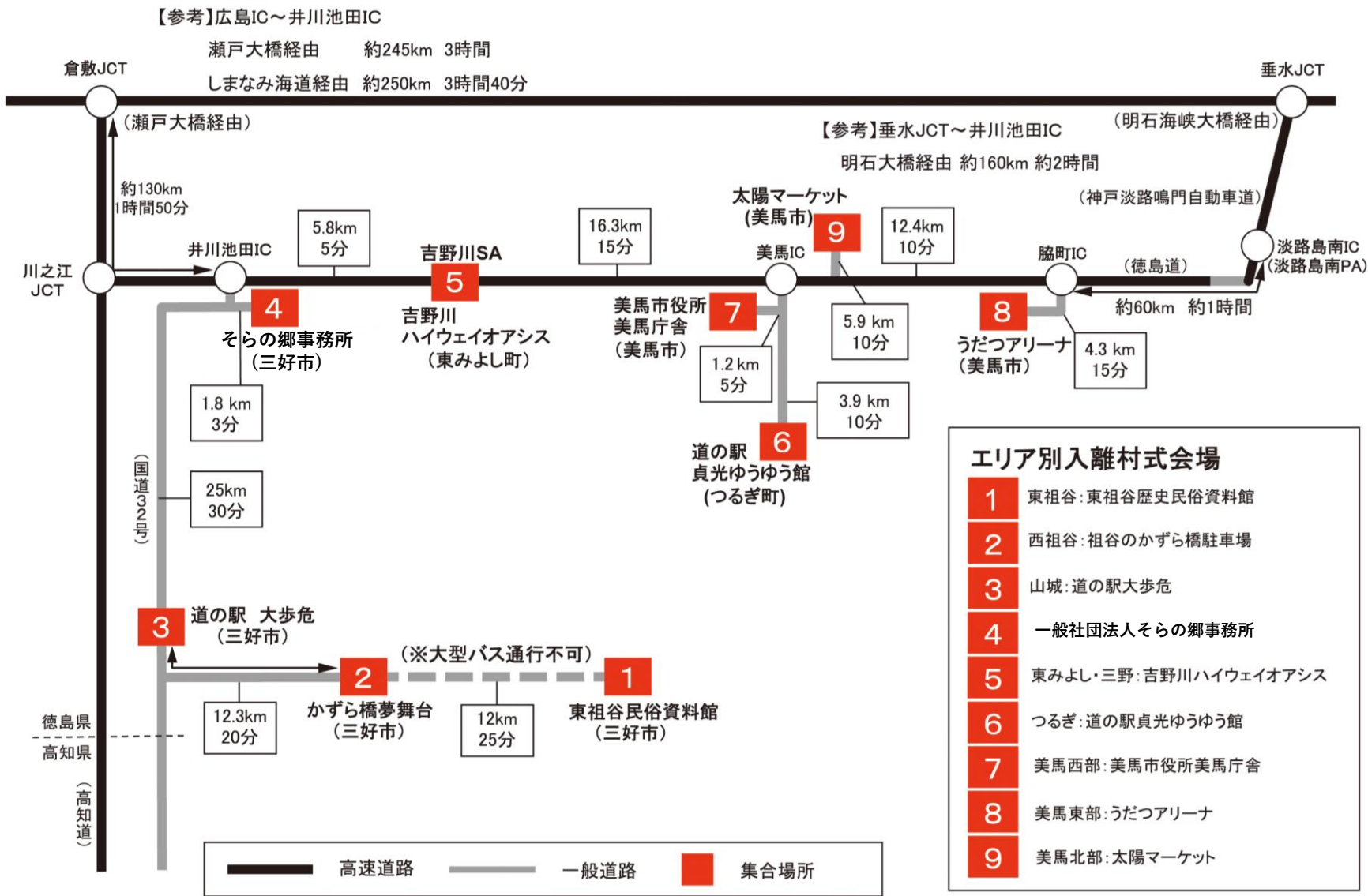
ESD教育旅行商品「そらの郷山里物語」

SDGsの実践現場として、ESD（Education for Sustainable Development）推進拠点に登録されており、『PBL（課題解決型学習）×STEAMプログラム』を開発し、本物の暮らしの中でプロジェクトを展開させています。事前学習、民泊、フィールドワーク・WS、パネルディスカッション、事後学習。「正解の無い不確実性に挑戦する力」や「サステナブルマインド」を身につける、SDGsアクティブラーニングプログラムです。未来社会「Society 5.0」の革新技術を制御し、人らしく、グローバルに活躍できる人材を育成します。

基本情報

受入人員	最大400名															
受入民家	190軒（1家庭 3名～6名受入）															
エリア	半径30分以内 9ヶ所															
入離村式	最大9カ所にて実施															
引率者 宿泊場所	本部宿舎 ホテル8施設 美馬市1 三好市5 つるぎ町1 東みよし町1															
引率者巡回	原則無し／特例 有料タクシー使用															
過去実績	<table border="1"> <tr> <td>R05年度</td> <td>36校</td> <td>7,212人泊</td> </tr> <tr> <td>R04年度</td> <td>25校</td> <td>2,298人泊</td> </tr> <tr> <td>R03年度</td> <td>10校</td> <td>715人泊</td> </tr> <tr> <td>R02年度</td> <td>05校</td> <td>481人泊</td> </tr> <tr> <td>R01年度</td> <td>25校</td> <td>3,319人泊</td> </tr> </table>	R05年度	36校	7,212人泊	R04年度	25校	2,298人泊	R03年度	10校	715人泊	R02年度	05校	481人泊	R01年度	25校	3,319人泊
R05年度	36校	7,212人泊														
R04年度	25校	2,298人泊														
R03年度	10校	715人泊														
R02年度	05校	481人泊														
R01年度	25校	3,319人泊														
緊急病院	徳島県立三好病院 住所：徳島県三好市池田町シマ815-2 TEL：0883-72-1131															

集合場所までの所要時間図



エリア別入離村式会場

- 1 東祖谷: 東祖谷歴史民俗資料館
- 2 西祖谷: 祖谷のかずら橋駐車場
- 3 山城: 道の駅大歩危
- 4 一般社団法人その郷事務所
- 5 東みよし・三野: 吉野川ハイウェイオアシス
- 6 つるぎ: 道の駅貞光ゆうゆう館
- 7 美馬西部: 美馬市役所美馬庁舎
- 8 美馬東部: うだつアリーナ
- 9 美馬北部: 太陽マーケット

※施設の使用状況によっては会場が変更となる場合があります



社会に開かれた教育 SDGs実践プログラム

そらの郷は、ローカルSDGsの実践現場として、地域ESD活動推進拠点に登録されています。そらの郷のSDGs実践プログラムは、全て、ターゲットNo.4.7「持続可能な開発のための教育（ESD）」に軸足を置いた上で、17項目を実践するプログラムとなります。

ESDは、Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。現在、世界には、環境・貧困・人権・平和・開発といった様々な地球規模の課題があります。

ESDとは、地球に存在する人間を含めた命ある生物が、遠い未来までその営みを続けていくために、これらの課題を自らの問題として捉え、1人ひとりが自分にできることを考え、実践していくこと（think globally, act locally）を身につけ、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。つまり、ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育む教育です。



そらの郷





① 「入村式」 ※各会場に分かれて

- ・ 対面整列
- ・ 挨拶（受入れ家庭代表、生徒代表、その他）
- ・ 終了後 各家庭へ移動



② 「家業体験～民泊体験」 ※各家庭に分かれて

- ・ 家業体験（農業を中心とした家業の体験）
- ・ 共同調理 ※食事は全て共同調理
- ・ 民泊体験 ※各家庭の生活リズムで寝食



③ 「PBL×STEMプログラム」 ※集落で実施

- ・ フィールドワーク
- ・ ワークショップ
- ・ ディスカッション

オーダーメイド
オプションプログラム



④ 「離村式」 ※各会場に分かれて

- ・ 対面整列
- ・ 挨拶（生徒代表、受入れ家庭代表、その他）
- ・ 終了後 阿波おどりフィナーレ ※民泊家庭と生徒、輪踊り
- ・ バス見送り



家業体験プログラム

自然と共生し、時に厳しい自然と対峙する、山の暮らしの知恵を家人との交流で継承すべき暮らしを学びます。

世界農業遺産認定の傾斜地農法で環境対応型の「生きる知恵」を学ぶ



【急傾斜地での伝統農法の体験】

ススキ(茅)を、斜面の畑に敷き、肥料としても使う植物資源の循環農法。農業、肥料を使わず、地球環境負荷の少ない持続可能な社会を千年以上も続けてきました。



自然界からのプレゼント「八合霧(雲海)」



伝統的な和食を「共同調理」で体感し持続可能性について考える

ソバ・アワ・ヒエ・キビ など
在来・固有種を保存するシステム



ススキを乾かしコエ(肥料)にする知恵。天然資源の循環農法。



「食」を作り生命をいただくことを感じる

そらの郷山里物語 入村～離村式までの基本行程表【参考】

初日		
時間	内容	裏側(一部)
10:00 ~	各会場へ到着・集合	
10:10 ~	入村式(自己紹介)	
10:30 ~	各家庭へ移動	
11:00 ~	家庭到着、各説明(緊急避難経路等)	
12:20 ~	昼食づくり体験	
13:00 ~	昼食・団楽(ミーティング)	
14:30 ~	家業体験 ※参考表参照	
16:00 ~	反省会(意見交換)	○農具手入れ ○お風呂準備 ・蒔き割り ・蒔き運び ・風呂焚き ・湯加減 ○翌日の準備 など
16:30 ~	休憩・コミュニケーション	
17:00 ~	夕食づくり体験	
18:00 ~	夕食・団楽(1日の振り返り/明日の予定)	
19:30 ~	阿波おどり練習	
20:30 ~	入浴	○洗濯
~	民泊体験(就寝)	○星空体験

2日目		
時間	内容	裏側
6:30 ~	起床	○八合霧(雲海)体験 ○洗濯
6:30 ~	朝食づくり体験	・取込み ・たたむ
7:30 ~	朝食・団楽(ミーティング)	
8:30 ~	家業体験 ※参考表参照	○お茶準備
10:00 ~	ティータイム・反省会(意見交換)	○農具手入れ
10:30 ~	阿波おどり練習	
11:00 ~	昼食づくり体験	
12:00 ~	昼食・団楽(全日程の振り返り)	
13:30 ~	帰省準備	
14:00 ~	移動	
14:30 ~	各会場へ到着・集合	
14:40 ~	離村式	
15:00 ~	阿波おどりフィナーレ(全員参加)	
~	お見送り	

※各家庭によって所要時間や内容等に違いがあります。

民泊家業体験 参考表

月	家業体験内容		
	農作業(収穫・植付け・手入れなど)	その他	通年
4月	いちご、そら豆、えんどう豆、インゲン豆、玉ねぎ、フキ、玉ねぎ等の収穫、たけのご堀、お茶、山菜摘み、雑穀の種まき、イモ類の植え付け	ツチアゲ、流し素麺 干しぜんまい	・阿波おどり ・竹細工 (箸、器、コップなど) ・縄細工 ・かずら細工 ・木工体験 (鉛筆立て)
5月	えんどう豆、そら豆、椎茸、ジャガイモ等の収穫、たけのご堀、山菜摘み、田植え、ひまわりの種まき トマト収穫・支柱建て・芽取り、梅取り、田起こし、ラッキョウ堀・洗って漬ける、茶摘み コンニャクイモ、トウモロコシの定植、トウモロコシの柵作り	ツチアゲ、流し素麺、蛍見学、花火、川遊び(水切り)、谷遊び、梅干し作り	・小物作り (写真立て、鍋敷き、ティッシュケース) ・巾着作り ・お手玉作り ・折り紙(箸袋) ・着物着付け体験 ・うどん打ち体験 ・そば打ち体験
6月	ピロ、スナックえんどう、イチジク等の収穫 玉ねぎ収穫・吊るし、トマト収穫・定植・芽取り、梅取り、ジャガイモ堀り・花摘み、たけのご堀、田植え、甘夏もぎ、山菜摘み、薬草摘み、ラッキョウ堀・洗って漬ける	蛍見学、花火、川遊び(水切り)、谷遊び、流し素麺、梅干し作り	・そばの粉引き ・釜炊飯作業 ・ひらら焼 ・郷土料理実習 ・田舎団子作り
7月	トマト、きゅうり、ピーマン、なす、とうもろこし、かぼちゃ、スイカ、枝豆、インゲン豆、大根、唐辛子、ゴーヤ、オクラ、冬瓜等の収穫、山菜摘み そば・人参の種まき、ラッキョウ堀・洗って漬ける	花火、川遊び(水切り)、谷遊び、流し素麺、梅干し作り、らっきょう漬作り	・そばの粉引き ・釜炊飯作業 ・ひらら焼 ・郷土料理実習 ・田舎団子作り
8月	トマト、きゅうり、ピーマン、なす、とうもろこし、かぼちゃ、スイカ、枝豆、インゲン豆、唐辛子、紫蘇、オクラ、みょうが等の収穫 水菜、キャベツ、ニンジン、玉ねぎ、ジャガイモ、カブ、大根、そば等の種まき	花火、川遊び(水切り)、谷遊び、流し素麺 漬物作り体験	・田舎裏の火おこし ・薪割り ・五右衛門風呂体験 ・火焚き体験 ・風呂焚き体験
9月	きゅうり、トマト、ピーマン、なす、カボチャ、みょうが、里芋、しょうが、蓮根、椎茸、蕎麦、柿等の収穫 水菜、春菊、白菜、玉ねぎ、ラッキョウ等の種まき 栗拾い、サツマイモ掘り、稲刈り	ツチアゲ、カヤの刈り取り、焼き芋、紅葉狩り、木の実拾い、漬物作り体験、干し柿・干し芋作り、焼き木づくり	・山散策 ・星空体験 ・やまびこ ・日の出観察
10月	かぼちゃ、大根、カブ、里芋、冬瓜、銀杏、みょうが、蕎麦、柿等の収穫、稲刈り 雑穀の収穫とハダ干し えんどう豆、そら豆、春菊、ホウレンソウ、ニンニク等の種まき 栗拾い、サツマイモ掘り	ツチアゲ、カヤの刈り取り、コエグロづくり、焼き芋、紅葉狩り、木の実拾い、漬物作り体験 干し柿・干し芋作り	・八合霧(雲海)体験 ・ホラ貝吹き ・小学校(跡地)見学 ・肝試し ・石垣美化
11月	里芋、小松菜、春菊、蕎麦等の収穫 アスパラガス、さやえんどう、そら豆、玉ねぎの種まき、サツマイモ掘り	ツチアゲ、カヤの刈り取り、コエグロづくり、焼き芋、紅葉狩り、木の実拾い、漬物作り体験 干し柿・干し芋作り	・集落奉仕作業 (神社・お寺、集会所 他) など
12月	大根、水菜、小松菜の収穫、畑の土作り	雪かき、かまくら体験 漬物作り体験、切干大根作り	
1月	長ネギ、芽キャベツ、白菜の収穫 農業用ビニール張り、手入れ	雪かき、かまくら体験 漬物作り体験、切干大根作り	
2月	小松菜、ホウレンソウ等の収穫 農業用ビニール張り、手入れ	雪かき、かまくら体験 漬物作り体験、切干大根作り	
3月	雑穀の種まき、ねぎ、アスパラなど 種まき・苗付け、イモ類の植え付け、キャベツ、ニンジン、ホウレンソウ等の収穫	ツチアゲ、雪かき、かまくら体験 漬物作り体験	

※家業体験内容は各家庭ごとに異なります。

にし阿波 そらの郷の郷土食



- ・民泊時の食事は、季節ごとに採れる新鮮な野菜を使った、汁物、煮物、和え物、酢の物が基本です。
- ・メニューは民泊先で日常的に食している郷土食や田舎料理です。
- ・食材は地産地消で、受入家庭に自家栽培の野菜があれば、それを収穫することからはじめます。
- ・受入家庭のお父さん、お母さんと話しながら、みんなで調理し、食卓を囲み、この地域の食文化を学んでください。
- ・もちろん片付けもみんなで一緒にいきます。



季節の野菜を中心とした
1汁3菜の食事例

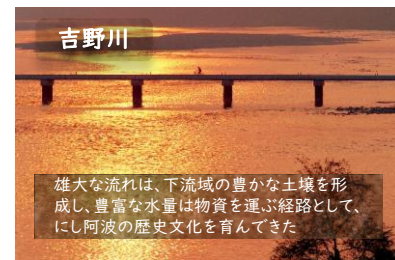
ごはんもの・めん類等						
汁物						
主菜・副菜						

山の恵みと川の恵 いただく生命と生きる力



霊峰剣山

標高1,955m、四国の尾根と呼ばれ、山頂付近には「行場」と呼ばれる修行用の難所があり、山岳信仰の対象とされている。



吉野川

雄大な流れは、下流域の豊かな土壌を形成し、豊富な水量は物資を運ぶ経路として、にし阿波の歴史文化を育ててきた。

にし阿波は、四国の中央部に位置し、古来から剣山・吉野川を中心とした歴史、文化、交流、信仰などで密接な関係があり、雑穀、そば、いもを中心とした「食文化」が今も息づく、一体性のあるエリアです。

○食文化の特徴

山間部の急傾斜地では、水田をつくることができず、数少ない平地部分も全国有数の暴れ川、吉野川の洪水被害を受けてしまうため、稲作が困難な地域でした。そのため、在来種のそばや雑穀、自生種の「山茶」、在来野菜等の少量多品目栽培が継承されてきました。また、寒暖差の大きさ、剣山おろしも命名される冬の寒風を利用し、秋から冬場にかけて穀物・野菜・果樹類を干して乾燥させた保存食文化が根付いており、切干大根、干し芋、干しズキ、トウガラシ、干し柿、干しイチヂク等が多彩な料理に利用されています。

○年中行事と郷土料理

月	行事	伝統的な食材を用いた郷土料理
1月	正月	雑穀餅の雑煮、そば米雑炊
2月	節分	そば切り、黒豆こんにやく煮つけ
3月	桃の節句、彼岸	季節野菜の巻き寿司、いもの粉団子、ぼたもち
4月	浜節句、雑祭り、花祭り	ゼンマイ・フキの煮つけ、山菜の天ぷら、ワラビの卵とじ
5月	端午の節句	切り干し大根の汁、赤飯、ちらし寿司
6月	田植え	ゴウシュイモの煮つけ、ウリの和え物、きやらぶき
7月	夏祭り、七夕、虫祈禱	きゅうりの辛子漬け、いり豆、ゴウシュイモの味噌炒め
8月	お盆	ユウゴのそうめん汁、ズイキ和え、ゴウシュイモの田楽
9月	栗節句、彼岸	おはぎ、雑穀餅、栗赤飯、りいきいも(サツマイモ)、まいも(サトイモ)
10月	秋祭り	赤飯、ズイキのぬた和え、煮つけの串刺し、サツマイモの天ぷら
11月	おいのこさん(豊作祈願)	そば切り、いのこ寿司、芋団子、里芋の煮しめ、大根の煮しめ
12月	冬至、大晦日	かぼちゃの煮つけ、ゆず味噌、でこまわし、そば米雑炊、そば切り



世界的激流ラフティングで 自然界のエネルギーを体感!!

日本三大河川・
四国三郎吉野川の生命の水
5感を研ぎ澄ます。

吉野川はワールドクラスのラフティングコース。大自然と「対峙」する勇気だけでなく、力を合わせてボートを操るチームワークの形成や「避ける」ことのできる能力開花など、自らの成長・達成感を味わうことができます。

我々は、体験を通じて、感動と笑顔の思い出作り、探求の時間をサポートします。



スポーツ庁 BIG

世界の強者に集結

10/3火 ▶ 9月

【開催地】徳島県三好市山城町・高知県長岡郡大豊町

ラフティング世界選手権
IRF WORLD RAFTING CHAMPIONSHIP 2017 JAPAN
YOSHINO RIVER SHIKOKU TOKUSHIMA

NEC JAL ANA Achilles

2017年10月に、日本初の「世界選手権」が開催されました！

チームビルディング ラフトし!®

静水面ラフティング
タイムトライアル



個性を認め、支え合い、ひとつのゴールに向かって進んでゆけるチームづくり！
講師は世界ラフティングのチャンピオン「阿部雅代」氏

料 金 要問合せください

所要時間 ライト 2.5時間 / ショート 6.3時間

開催時間 10:00~ / 14:00~

実施時期 通年(小雨決行)

人 数 10~60名(2~10チーム)

体験場所 三好市 池田湖水際公園
(〒778-0014 徳島県三好市池田町イタノ)

お申込み 一般社団法人そらの郷 TEL.0883-76-0713
(一か月前までに要予約)

2023より



多世代交流型スポーツ パークゴルフ



Park golf ~ Multi-generational communication ~

河原環境マインドや心身の健全な成長を促し、社会的コミュニケーション能力を身につけます。

料 金 要問合せください

所要時間 プレー2時間程度

開催時間 9:00~15:00

実施時期 通年(小雨決行)

人 数 2~50名

体験場所 美馬市 吉野川河畔パークゴルフ場
(〒779-3600 徳島県美馬市美馬町中島)

お申込み 一般社団法人そらの郷 TEL.0883-76-0713
(一か月前までに要予約)



PBL×STEAMプログラムとは？

社会に開かれた教育

そらの郷は、ローカルSDGsの実践現場として、ESD（Education for Sustainable Development）推進拠点に登録されています。

ESD人材育成を図る『PBL（課題解決型学習）×STEAMプログラム』は、本物の暮らし、コミュニティの中で、地域住民と共にプロジェクトを展開させるものです。

STEAM教育の手法で、個々の能力を引き出し、様々な実践体験から、あらたな課題・複数の答えを模索します。（事前学習、民泊、フィールドワーク・WS、パネルディスカッション、事後学習。オーダーメイドで、カリキュラムマネジメントをいたします。）

本プログラムは、SDGs教育への活用が好ましく、ベネフィットは「正解の無い不確実に挑戦する力」や「サステイナブルマインド」の習得などが挙げられます。

そらの郷は、未来社会「Society 5.0」を見据え、革新技術を制御し、グローバルに活躍する「未来を変える若者」の育成を目指しています。



四国・徳島

～持続可能な開発のための教育現場～

Education for Sustainable Development

ESD体験型教育旅行

そらの郷

Project-Based Learning (課題解決型学習)

PBL×STEAMプログラム



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を実践しています。

ESDの実践現場
修学旅行で実践体験型のPBL



古くから受け継ぐ山里の暮らし。人々は共働で畑を作り、高地性集落で「そらの郷」の暮らしを続けています。グローバルSDGsはローカルの実現から。都会と地方の若者が協働する、日本のESD人材育成プログラムです。世界農業遺産を護り限界集落コミュニティの未来社会を共創してください。



世界農業遺産のサステナブルな伝統耕作法を実践。



地元生徒と共に、STEAM手法を駆使し
コミュニティの深刻な課題解決に向かい合う。

お問い合わせ
一般社団法人そらの郷
☎0883-76-0713



PBLプログラムフロー

①事前学習

- 出前授業 (約60～120分) 講師：そらの郷
 - ・そらの郷の暮らしについて
 - ・そらの郷の取り組みについて
 - ・そらの郷の課題について
 - ・PBLテーマ策定 ※ワークショップ
- 地元高校生とのTV会議 (数回) ※Skype
地元高校生：徳島県立池田高等学校 探究科 他



②民泊 家業体験

- ・各説明 (緊急避難経路等)
- ・夕食づくり体験 ※共同調理
- ・夕食・団樂
- ・民泊家庭とのディスカッション
- ・阿波おどり練習
- ・入浴・就寝



③集落 フィールドワーク

フィールドワーク ※地元高校生とのフィールドワークも検討可能
テーマに沿ったフィールドワークと体験。民家(受け入れ家庭)と共に、世界農業遺産の地の、産直施設や加工所などをフィールドワークなど。集落の産業構造、食や文化を守る取り組みを学びます。
世界農業遺産 傾斜地農耕システム (コエグロづくり) なども体験



④パネルディスカッション

そらの郷「パネルディスカッション」(約60分)
・各班の代表と、地域とのディスカッション



・振り返り、まとめ、共有。
・自らのエンカライフに取り入れる。
発表会 そらの郷出席
(例) 後輩に修学旅行の報告・成果発表。PBLの成果が継承され、新たなPBLに挑戦。



⑤事後学習

国内初ESDの実践現場と言われる理由は、世界初となる独自の実践体験型「PBL(課題解決型学習)プログラムを開発し、本物の暮らしの中でプロジェクトを展開させるところにあります。事前学習・テーマ策定、民泊、フィールドワーク・WS、パネルディスカッション、事後学習。「正解のない問いに挑戦する力」と「サステイナブルマインド」を醸成します。

PBLプログラム実施によるSDGs推進



持続可能な社会の創り手となる若者の育成

徳島県

(一社) そらの郷／にし阿波～剣山・吉野川観光圏
徳島県・美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町

【振興計画】

- ・観光 移住 交流による地域活力創生への課題
- ・次世代継承への課題
- ・安全安心の地域社会形成への課題
- ・誰もが幸せな暮らしづくりへの課題
- ・持続可能な地域経済推進への課題

【関係する成果】

関係人口、来訪・宿泊者、SDGs普及・支援、
SDGs地方ビジネス、地方創生・・・etc

集落住民



【側面的な収穫】

暮らしの誇り
先人への感謝
未来への希望
生きがい

【実質的な収穫】

現金収入
パートナーシップ
による課題解決
SDGsを認知



高齢化・過疎化・限界集落・後継者問題・TPP・鳥獣被害・環境保全・・・

都会+地方
日本のESD



都会の学生

【側面的な収穫】

生きる知恵
地方への思い
将来の目標
田舎暮らしへの憧れ
エンカル感

【実質的な収穫】

SDGs × PBL研修修了
※進路に有効
SDGsターゲット成果
地方の現状を認知
地方との深い繋がり
急傾斜地農業システムを
認知

共創アクティブラーニング
※集落課題のひとつに
向かい合う

～気づき～

豊かさの概念
幸せの概念
価値の概念
etc



共創による、新たな
SDGsターゲット
4.7、12.8 etc



地元の学生

【側面的な収穫】

生きる知恵
故郷への誇り
将来の目標
田舎暮らしへの誇り
エンカル感

【実質的な収穫】

SDGs × PBL研修修了
※進路に有効
SDGsターゲット成果
地元を再認識
都会との深い繋がり
急傾斜地農業システムを
再認識

地域の魅力 (セールスポイント)

①世界農業遺産 認定地域

～傾斜地の伝統農法・暮らし～



②世界有数のアクティビティ

ラフティング世界選手権2017開催
WWAウエイクボード世界選手権2018開催



③食と農の景勝地 認定地域

農水省が認定し「Savor Japan」ブランドで
魅力を世界に発信する地域



④観光圏認定地域 にし阿波

日本版DMO法人認定組織 その郷
魅力ある観光地域づくりを推進



⑤世界に誇る日本の伝統芸能

～阿波おどり体験～
再会を誓い門出を祝うフィナーレ



⑥ESDネットワーク 地域拠点

修学旅行でローカルSDGs達成をテーマとした
PBL×STEAMプログラムを実施
地元住民・行政・生徒と課題解決に取り組むプログラム。
SDGsネイティブのESD人材を育成。新しい社会の担い手である
次世代・女性のエンパワーメントの育成



地域の課題 (ウイークポイント)

PBLテーマ (例)

①急速な少子高齢化、人口減少による 担い手不足

- ・傾斜地伝統農法の技術継承
- ・山間部の植物多様性の保全
- ・集落のローカルコミュニティ保全

②将来の不確実性からくる、住民の ネガティブ思考

- ・自身の子どもが、田舎を離れ、都会で成功することを願う。
- ・止められない人口減少と産業衰退。
- ・豊かな暮らし、地域の魅力創出が進まない。

③秘境といわれる所以、交通の不便

山々と渓谷で分断された集落形成のため、大型バスの侵入が困難。

④動植物多様な地域であるため、 虫が多い。

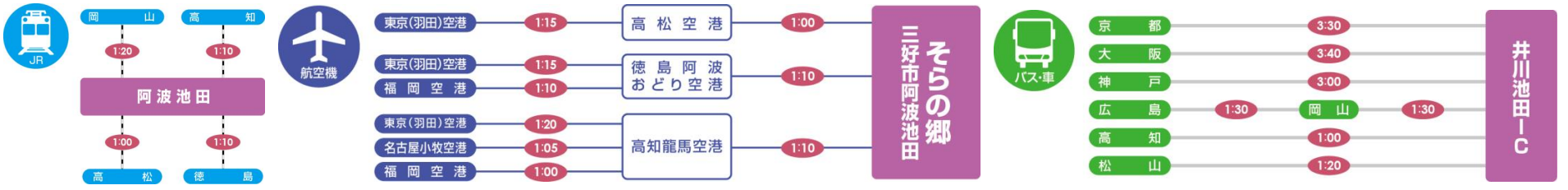
イノシシ、シカ、猿などに農地が年中被害を受けている。
受入れ中の生徒に悪さをすることは無いが、道中姿を
現すことはある。

PBLプログラム (例)

HP:<https://nishi-awa.jp/soranosato/>

E-mail:sora05@nishi-awa.jp

TEL:0883-76-0713 / FAX:0883-72-0753



①世界農業遺産、傾斜地農耕システム



世界農業遺産認定地「にし阿波」の傾斜地農耕システムを体感。
 これらの地域では傾斜地のまま農耕を行っており、独自の技や知恵を培って、自然や集落を守ってきました。この400年以上にわたり継承されてきた山村景観や食文化、そして農耕にまつわる伝統行事などの全てが「傾斜地農耕システム」です。このシステムは、未来に向けても持続可能なものと認められ、食と農の危機的状況や生態系の破壊など世界が直面する問題解決にもつながるものと評価されました。

行程

世界農業遺産について説明 → マイクロバスにて移動 → 土上げ体験・郷土文化体験 → マイクロバスにて移動 → 解散

2,500円/人 10~20 120~180 3月~12月
 ※要別途バス代



世界農業遺産認定地「にし阿波」

傾斜地での土上げ体験

②吉野川流域の、川の暮らしと環境を考える



吉野川リバーカヤック

港町として栄えた吉野川流域の町。昔は物流の道だった川を、旅する現代の船「カヌー」を体験しながら、その川と共に暮らしてきた人々の生活の歴史に触れます。また、山から川、海へと続く自然環境の循環性について、また人々の生活と自然環境について、今一度、見つめ直すゆったりとした時間が過ごせます。

行程

道の駅貞光ゆうゆう館集合 → レクチャー → カヌー体験 → フィードバック → 解散

7,500円/人 4~20 120~180 3月~12月



Tsurugi Local Guides

③重要伝統的建造物群保存地の現状と今後



桃源郷祖谷の山里

平成17年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された落合集落は、急傾斜地に集落が形成されています。江戸中期から昭和初期に建てられた茅葺屋根の古民家を改修し、現代に生き返らせたゲストハウス「桃源郷祖谷の山里」が8棟あります。

行程

マイクロバスにて移動 → 脇町うだつの町並み/落合集落 → 施設見学 → 解散

2,500円/人 10~20 120~180 3月~11月
※要別途バス代



落合集落 (三好市)

④美馬和傘を伝える



ランプシェード

昭和30年頃には和傘製造に携わる業者が200軒余りも並んでいた美馬町地区。近年は、2軒だけとなり、再度、美馬和傘を復活させようと、市民有志で「美馬和傘製作集団」を立ち上げ和傘作りに日々奔走しています。美馬和傘の技術を活かし、竹の骨組みを張り、オリジナルのミニ和傘、ランプシェードを作る体験ができます。

行程

道の駅藍ランドうだつ集合 → 体験
→ うだつの町並み散策 → 解散



美馬和傘

⑤急傾斜地の集落を後世に繋ぐ



刈名集落

斜度が40°にもなろうかという斜面をそのまま畑として耕作する「傾斜地農耕システム」が継承されており、山の上の方の斜面に、住居や畑が並ぶ集落風景がよく見られます。集落の憩いの場として、農家レストラン「風和里（ふわり）」があり、県外、海外からのお客様もたくさん来られており、集落に賑わいを取り戻し、後世に繋いでいこうと日々奮闘しています。

行程

バス(中型まで)にて移動 → 刈名集落
→ フィールドワーク → 解散



※要別途バス代



⑥「借耕牛」の歴史を伝えるトレッキング



借耕牛の風習は、江戸時代中期から約250年続いたとされています。三好市や美馬市などの山間部は餌になる草が多く牛が育てやすいのに対し、水田の多い香川では飼料が不足して多くの牛を飼うのは困難だったことから、貸し借りが行われていました。その、牛を貸し借りするのに歩いた道を、ガイドと一緒に歩きます。

行程

太陽マーケット集合 → 事前学習 → 体験 → 昼食 → 解散

6,200円/人

5~30

90~120

通年



⑦多世代交流型スポーツ体験「パークゴルフ」



にし阿波では、吉野川流域の河川敷をパークゴルフ場に行っているところがたくさんあり、色んな世代の方がそこでパークゴルフを楽しんでいます。異世代交流の場として、コミュニケーション能力の形成に、活用できます。

行程

バス(中型まで)にて移動 → 河川パーク → 体験 → 解散

1,500円/人

2~50

120~180

通年

※要別途バス代



SDGs・キャリア教育プランとは？

そのの郷は、ローカルSDGsの実践現場として、ESD（Education for Sustainable Development）推進拠点に登録されています。

ESD人材育成を図る『SDGsキャリア教育プラン』は、真に豊かな暮らしを追求し、そのの郷の地で働くステキな大人たちとの出会いから、大人の本音やリアルな社会に触れる旅です。基本プランは2泊3日で、事前学習、民泊、企業訪問、職場体験、伝統農法体験、事後学習を実施します。オーダーメイドで、カリキュラムマネジメントをいたします。

そのの郷のオンリーワン企業社長との意見交換では、SDGsを掲げる企業フィロソフィーや地域社会におけるパーパスを学ぶことで、VUCAの時代に立ち向かう若者のアントレプレナーシップを醸成します。

また、本プログラムは、キャリア教育だけでなく、SDGs教育への活用が好ましく、ベネフィットは「正解の無い不確実に挑戦する力」や「サステイナブルマインド」の習得などが挙げられます。

そのの郷は、未来社会「Society 5.0」を見据え、革新技術を制御し、グローバルに活躍する「未来を変える若者」の育成を目指しています。



長期休暇など、希望日をご予約ください。

日程：2021年 ○月○日～○日(2泊3日)

『SDGs・キャリア教育プラン』

農家民泊体験 × 企業訪問+α

世界農業遺産の暮らしが継承される「にし阿波・そらの郷」。
真に豊かな暮らしとは何か？ この地で働く、ステキな大人たちと出会いと、
大人の本音やリアルな社会に触れる旅です。
自分らしい未来創造に向け、一歩踏み出すきっかけをつかもう！

①「農家民泊体験」

- ・家業体験 農業を中心とした家業の体験
- ・共同調理 食事は全て共同調理
- ・民泊体験 各家庭の生活リズムで寝食

②「企業訪問」 ※希望の事業所を選択

- ・企業訪問
- ・職場体験
- ・意見交換

③「急傾斜地伝統農法体験」

- ・コエグロづくり

④「その他」 ※希望者のみ

- ・レポート制作 WEBサイト掲載

- 対象：高校生
- 定員：4～5名/班
- 参加費：〇〇,〇〇〇円



■ 集合場所：一般社団法人そらの郷

徳島県三好市池田町シマ995番地1

■ 集合時間：○月○日(○) 9時



No.	月日	行 程【途中】	食事	宿泊・備考	
1	徳島市内	徳島市内 9:00 集合 そらの郷 徳島県西部総合会議場 (マリエンテーション レクチャー棟)	徒歩 10:30 出田・高橋屋 MIND Eキッチン (ランチ)	民家車 13:00 吉野川ハイウェイオアシス (入村式)	農家民泊 朝食 10:00
2		事業所訪問実施 民家車 農家民泊 (朝食・共同調理)	民家車 農家民泊 (宿泊)		農家民泊 朝食 10:00
3		民家車 農家民泊 (朝食・共同調理)	14:00 吉野川ハイウェイオアシス (贈付式/振り返り)	徳島市内 16:00集合予定	朝食 10:00

【説明会 参加申し込み】 ※貴校で説明会を実施させていただきます。

お申込事項をご記入の上、次の方法でお申込みください。

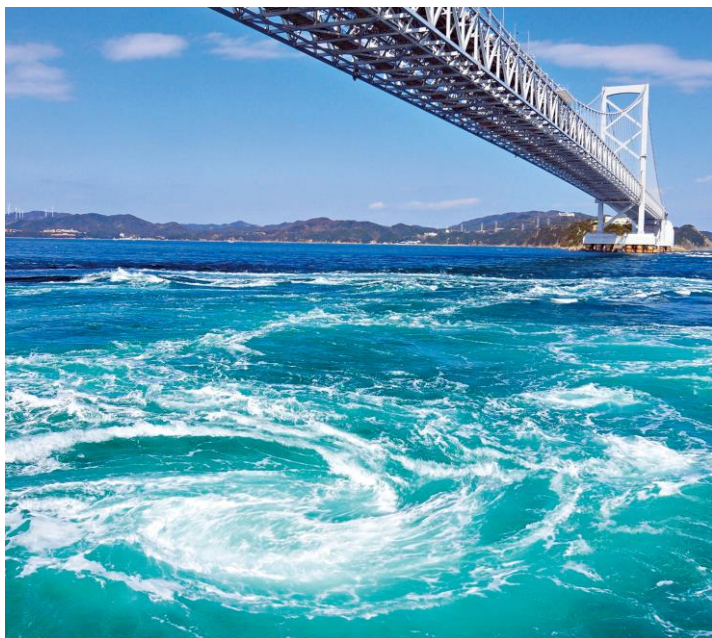
■ 担任の先生へ提出 お手数ですが、担当の先生から、そらの郷までご連絡ください。

参加者氏名 (フリガナ)	学校名	学年
	自宅TEL	-
生年月日 (保護加入のためにご記入願います。)	当日緊急連絡先	
年 月 日		
住所 (自宅)	参加の理由・期待することなど	
保護者氏名 (フリガナ)	※注意	

※注意：このプランにご参加いただくためには、保護者の承諾を得る必要があります。



名称 一般社団法人そらの郷
所在地 〒778-0003 徳島県三好市池田町シマ995番地1
代表者 理事長 藤田 元治 (美馬市市長)
TEL/Fax 0883-76-0713 / 0883-72-0753
担当 松浦・福永
旅行業登録番号 徳島県知事登録旅行業第2-148号



■ 鳴門の渦潮

潮の干満によって生ずる渦は地球の自転を感じられる自然現象で、潮流時速約20km、渦の直径20mにも及ぶものもあり、世界3大潮流の1つにあげられています。渦潮を堪能するには、海上45mの高さから渦潮を眼下に見下ろすことができる「大鳴門橋遊歩道渦の道」や、逆巻く渦潮が間近に迫る「観潮船」があります。



渦の道

渦の道

- 営業時間 / 3月～9月 9:00～18:00
10月～2月 9:00～17:00
GW・夏休み期間 8:00～19:00
- 問合せ先 / ☎088-683-6262

うず潮観潮船

- 問合せ先 / ☎088-687-0101
(うずしお観潮船 鳴門観光汽船)
☎088-687-0613
(株式会社うずしお汽船)



うずしお観潮船

■ 大塚国際美術館



日本最大の常設展示スペース（延床面積29,412㎡）を有し、1000余点の西洋名画を陶板で原寸大に忠実に再現した「陶板名画美術館」。館内には、古代壁画から世界25カ国190余の美術館が所蔵する現代絵画まで、特殊技術によってオリジナル作品と同じ大きさに再現。日本にいながらにして世界の美術館巡りが体験できます。また、陶板名画は約2000年以上にわたってそのままの色と姿で残るもので、手で触れたり写真撮影も可能です。作家の息づかいまで感じられるアートな感性が磨かれます。



- 開館時間 / 9:30～17:00
(入館は16:00まで)
- 問合せ先 ☎088-687-3737



■ ドイツ館

ドイツ官は、ドイツ兵俘虜と地域の人々との交流を顕彰するため、元俘虜たちから寄贈された資料を中心に建設されました。1917年～1920年の大正時代に、日本で第一次世界大戦のドイツ兵の捕虜の人権を尊重し、自主的な生活を認めていた対応に、ドイツ兵の感謝を表すイベントとして、ベートーヴェン交響曲第9番の日本の初演の地となり今日でもドイツとの交流が続いています。

- 営業時間 / 9:30～17:00 (入館は16:30まで)
- 問合せ先 ☎088-689-0099

■ 阿波十郎兵衛屋敷 ・ 人形浄瑠璃

人形浄瑠璃芝居「傾城（けいせい）阿波の鳴門」のモデル・板東十郎兵衛の屋敷跡。江戸情緒の残る庭や建物で、屋敷内には十郎兵衛の遺品や木偶（でこ）が展示されています。浄瑠璃上演舞台では定期的に「傾城阿波の鳴門」等上演。日本の伝統的な郷土芸能の阿波人形浄瑠璃芝居を色々な形で見ることができます。

- 営業時間 / 9:30～17:00
- 問合せ先 ☎088-665-2202





■ 藍の館

日本を代表する青（ジャパンプルー）の阿波藍の歴史や製法などを詳しく展示しており、藍染め体験も手軽にチャレンジできます。

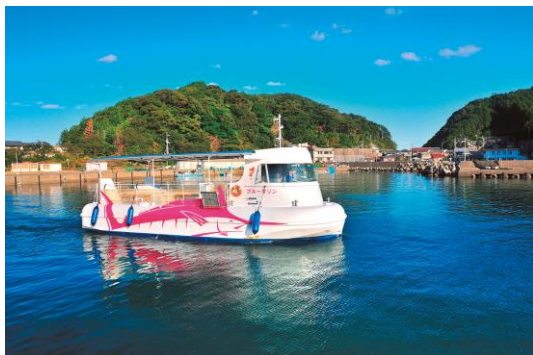
- 開館時間／9:00～17:00
(藍染め体験16:00まで)
- 問合せ先 ☎088-692-6317



■ 日和佐 うみがめ博物館 カレッタ

国の天然記念物に指定されたウミガメの産卵地の大浜海岸にあり、5年以上の年月でアメリカ西海岸と日本を回遊するウミガメの魅力を学べます。

- 開館時間／9:00～17:00
- 問合せ先 ☎0884-77-1110



■ 海中観光船 ブルーマリン

室戸阿南海岸国定公園の美しい海を堪能できる海中観光船。外の景色はもちろん、美しいサンゴや熱帯魚など、海の魅力を船の中から気軽に堪能できます。

- 営業時間／9:00～16:00
- 問合せ先 ☎0884-76-3100

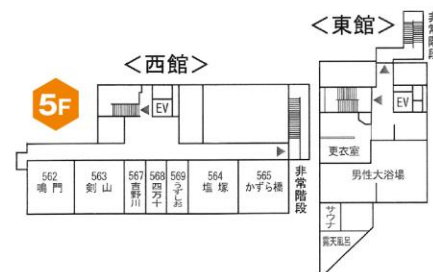
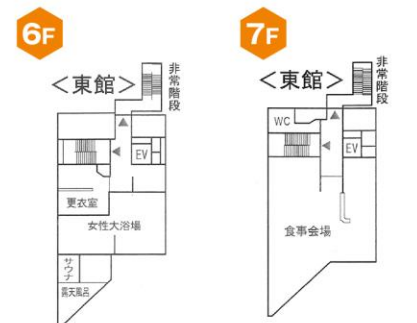


■ 阿波おどり会館 阿波おどり

400有余年の伝統を誇る「阿波おどり」を一年中楽しめる施設。阿波おどりの歴史が学べる博物館「阿波おどりミュージアム」、専属連「阿波の風」の踊りや、夜は有名連の踊りが見られる「阿波おどりホール」があります。また、踊りのレッスンを受けて、踊り子さん達と一緒に踊ることができます。

- 開館時間／9:00～17:00
※イベント時は9:00～21:00 (要問合せ)
- 問合せ先 ☎088-611-1611





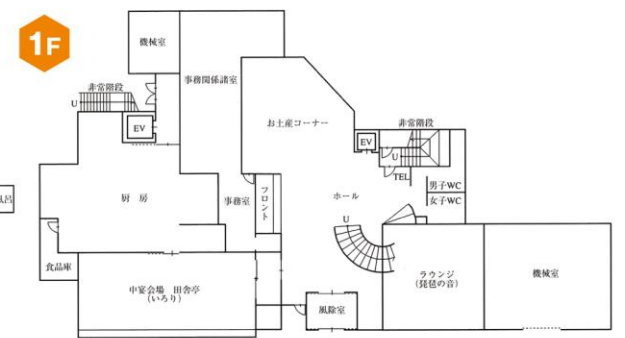
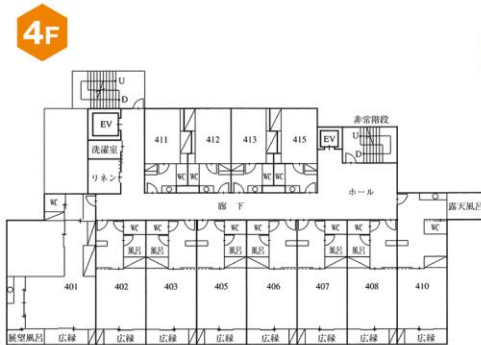
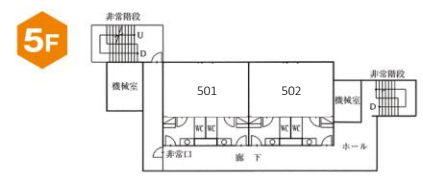
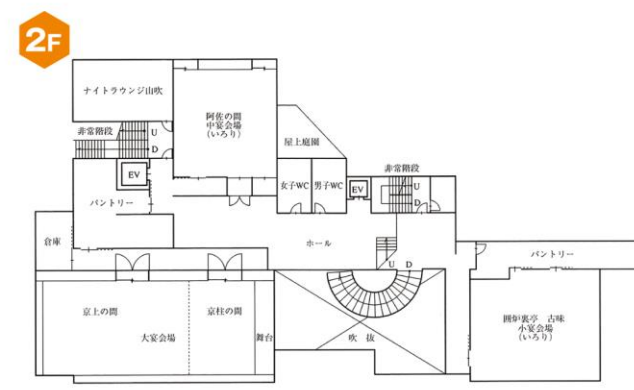
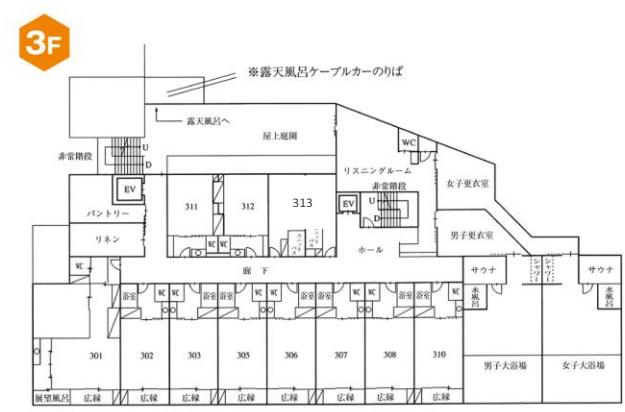
大歩危温泉 サンリバー大歩危

<http://www.oobokeysen.jp/>

大歩危峡の素晴らしい景色が一望できる展望温泉は、美人の湯と好評。舟下り、秘境かずら橋観光など大自然の真っ只中で、大歩危渓谷をお楽しみ下さい。

- 住所 徳島県三好市山城町西宇1259-1
- 電話 0883-84-2111
- アクセス JR土讃線大歩危駅よりタクシーで7分。駅まで無料送迎有。徳島自動車道井川池田ICより車で30分。
- 駐車場 有り(無料)
- 部屋数 35室
- 宿泊人数 110人





新祖谷温泉 ホテルかずら橋

<http://www.kazurabashi.co.jp/>

当館は日本三大秘境「祖谷のかずら橋」の近くにあり、四季を通じて祖谷の郷土料理と平家一族の隠し湯の雰囲気ケーブルカーで登る天空露天風呂で楽しめます。

住所 徳島県三好市西祖谷山村善徳3-3-1
 電話 0883-87-2171
 アクセス J R土讃線大歩危駅→バスかずら橋行き約20分
 ホテルかずら橋前下車→徒歩約0分
 駐車場 有り(無料)
 部屋数 25室
 宿泊人数 修旅貸切り 100人まで (120人)



祖谷溪温泉 ホテル秘境の湯

<http://www.hotel-hikyounoyu.co.jp/>

ロマンあふれる平家伝説が今なお生き続ける日本三奇橋の一つ「祖谷のかずら橋」と温泉（炭酸水素塩泉）と素朴な自然の食文化で秘境を満喫！

住所 三好市西祖谷山村尾井ノ内401
 電話 0883-87-2300
 アクセス J R土讃線大歩危駅→バス四国交通かずら橋行き
 約15分 秘境の湯下車→徒歩約0分
 駐車場 有り（無料）
 部屋数 53室
 宿泊人数 180人



本館

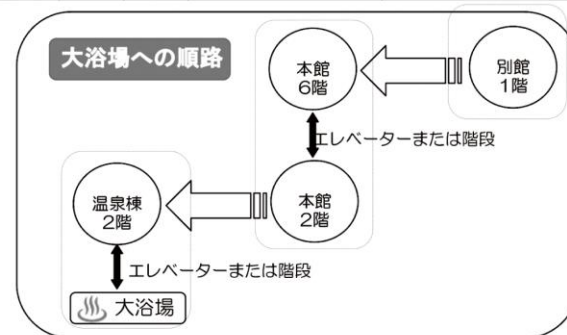
8F	エレベーター	801	802					
7F		大ホール 紅葉の間						
6F		宴会場 かえで	宴会場 ひのき	宴会場 けやき				
5F		501	502	503	505	506	507	508
4F		401	402	403	405	406	407	408
3F		301	302	303	305	306	307	308
2F		自販機 ジュース	ビール タバコ	カラオケ 野菊	カラオケ かすみ	宴会場 中津	会議室	
1F		ロビー	フロント (内線9番)		売店 (7:00~21:00)			

別館

7F	エレベーター	1701	1702	1703	1705	1706	1707
6F	自販機 ジュース	1601	1602	1603	1605	1606	1607
5F		1501	1502	1503	1505	1506	1507
4F	自販機 ジュース	1401	1402	1403	1405	1406	1407
3F	自販機 ビール	1301	1302	1303	1305	1306	1307
2F		囲炉裏宴会場 萩の間					
1F		宴会場 藤			宴会場 桜		

温泉棟

2F	休憩室 ゲーム	おとぎや	階段	エレベーター	連絡通路
1F	温泉 ロビー				



大浴場(露天) 15:00~23:00 6:00~9:00
 塩サウナ 15:00~21:00 朝はご利用できません
 *脱衣場では最奥のご宿泊者様専用ロッカー(鍵付)をご利用ください

峡谷の湯宿 大歩危峡まんなか

<http://www.mannaka.co.jp/>

大歩危峡の渓谷沿いに建つ吉野川の美しい自然に囲まれた宿。同じ経営に大歩危遊覧船があります。また近くには祖谷かずら橋もあります。

住所 徳島県三好市山城町西宇1644-1
 電話 0883-84-1216
 アクセス JR大歩危駅下車徒歩20分（事前要予約）
 JR大歩危駅迄 無料送迎可能
 井川池田IC出口より車で30分
 駐車場 有り（無料）
 部屋数 26室
 宿泊人数 89人



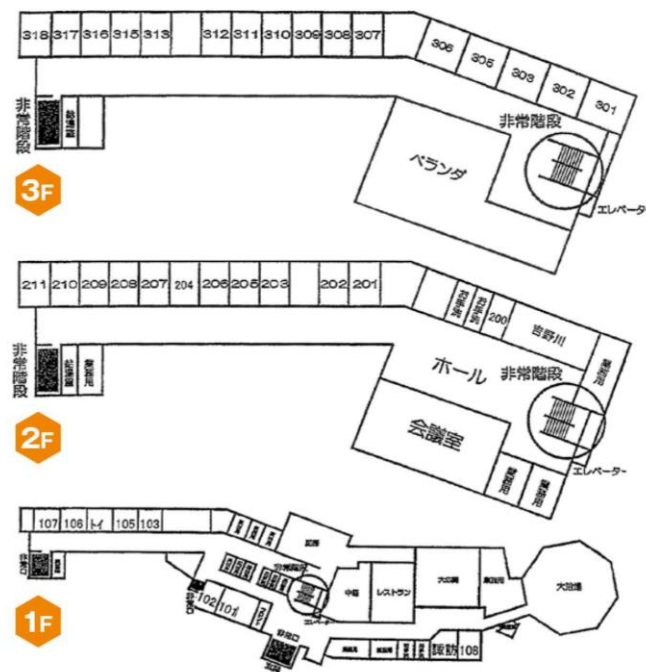
大歩危祖谷阿波温泉 あわの抄

<http://awanosho.jp/>

日本三大秘境の大歩危祖谷の入口。ぬめり気のあるアルカリ美肌温泉が人気。地魚のあめごの塩焼き、特選牛ステーキなどのあぶり会席。阿波踊り鑑賞有。

住所 徳島県三好市池田町白地本名165-6
 電話 0120-018-081
 アクセス JR土讃線阿波池田駅→タクシー約10分

駐車場 有り（無料）
 部屋数 43室
 宿泊人数 132人



つるぎの宿 岩戸

<http://ww81.tiki.ne.jp/~iwado/>



剣山のふもと、豊かな自然と清流のほとりに佇む当館で憩いの一時を。周辺では川遊びや釣りなども楽しんで頂けます。

住所 徳島県美馬郡つるぎ町一字赤松 6-9
電話 0883-67-2826
アクセス 徳島市から徳島自動車道を西へ約50Km、美馬I.Cから国道438号を南へ約18Km。
駐車場 有り(無料)
部屋数 10室
宿泊人数 20~25人

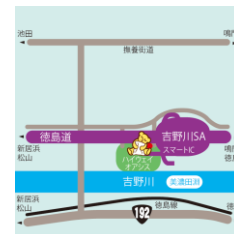


ファミリーロッジ旅籠屋 (はたごや)

吉野川SA店 <http://www.hatagoya.co.jp/>

ファミリーロッジ旅籠屋 (はたごや)
吉野川SA店 <http://www.hatagoya.co.jp/>
アメリカンスタイルの素泊まりのミニホテルです。
おひとりなら5千円より(いずれも消費税別途)。
シンプルで自由な、旅と暮らしをサポートします。

住所 徳島県東みよし町足代1603-3
電話 0883-88-8500
アクセス 徳島自動車道吉野川ハイウェイオアシス内
駐車場 有り(無料)
部屋数 14室
宿泊人数 56人





清月屋敷

<https://seigetsuyashiki.com/>

絶景の景色を楽しみながら、ご宿泊・展望風呂・貸会議室・テニスコートに加え、オートキャンプ場・バーラウンジで、満喫のひとときを提供。ビジネスにプライベート、様々なシーンでご要望に応じます。

住所 徳島県美馬市穴吹町穴吹字市ノ下100-6
 電話 0883-53-7733
 アクセス JR徳島線穴吹駅→徒歩約25分またはタクシー約5分
 駐車場 有り(無料)
 部屋数 19室
 宿泊人数 130人(大広間を含む)





ビジネスホテルマツカ

<https://www.hotel-matsuka.com/>

ビジネス・観光拠点としても便利な立地です。重要伝統的建造物保存地区である「うだつの町並み」にも近く、ゴルフ場へも車で10分で行けます。ロビーには暖炉があってあたたかい雰囲気。ゆったりくつろいでいただけるよう、館内の隅々にまできめ細やかなおもてなしを心がけております。

住所 徳島県美馬市脇町猪尻建神社下南153-1
電話 0883-52-1555
アクセス JR徳島線穴吹駅→徒歩約18分またはタクシー約5分
駐車場 有り(無料)
部屋数 61室
宿泊人数 130人



「命を守る」安全・安心の体制整備に注力

体験型観光講習会・民泊研修会・SDG s 研修会



体験型教育旅行の理念、基本的な考え方、民泊受入の心得を学ぶ講義研修

インストラクター講習会・民泊受入実践研修会



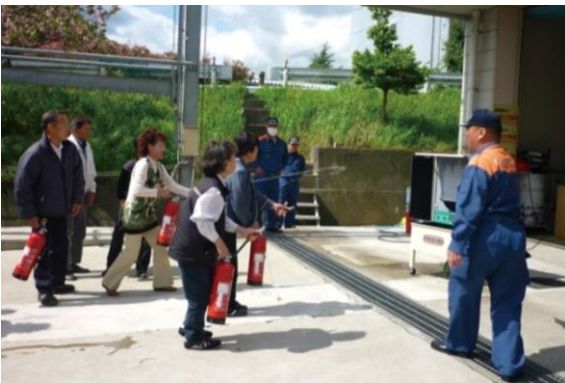
生徒と一緒にやる体験の進め方や教え方、注意点等について学ぶ実践研修

視察研修会・SDG s 実地研修



他地域を訪問し、自身が教えられる側、宿泊する側になって体験する実地研修

消防救急・交通講習会・防災DIG研修



消防職員・交通安全協会による、交通安全講習、緊急時の対応、応急処置について学ぶ安全講習会
また、災害を想定し対策するDIG研修会

衛生安全講習会（HACCP 他）



保健所職員や感染症対策の専門家による、安全な食事作り、衛生管理について学ぶ衛生安全講習会
また、民泊HACCPを推進

地区別意見交換会

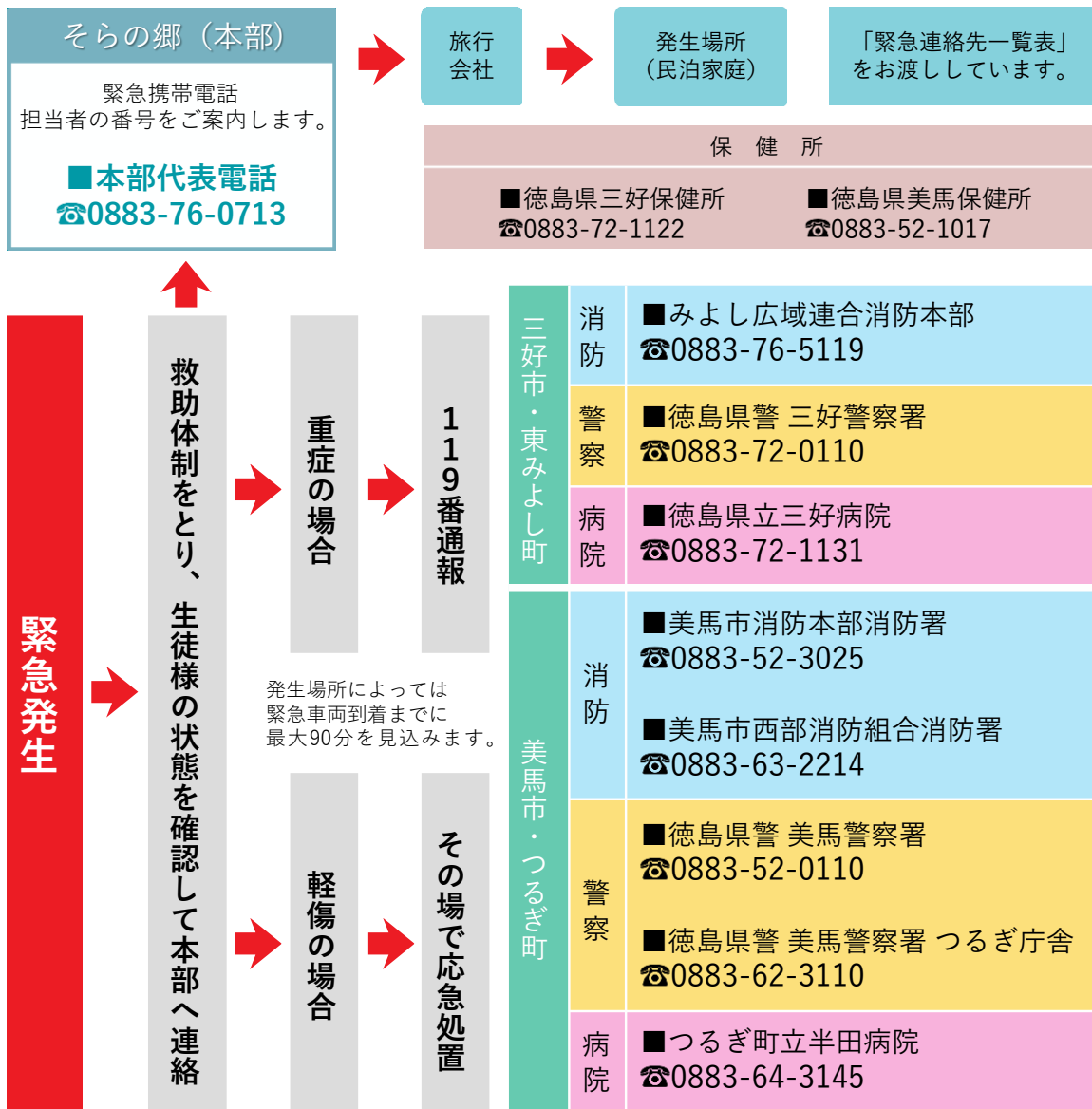


各民泊家庭で行なった家業体験の内容や出来事などを共有する為に、受入れ終了後に行う地区会議

- ① 農山村生活体験は、ありのままの暮らしを体験していただけますので、安全を考慮した上で雨天でも体験・作業を行います。可能な範囲で雨具等を持参いただくようお願いいたします。
- ② 滞在中に食事（施設・昼食体験・民泊体験）がある場合、食物アレルギー等を事前調査の上、必ずお知らせ下さい。
- ③ 緊急連絡体制や対応マニュアルを整え、インストラクター・民泊先・宿泊施設などに周知徹底しています。また、応急処置や緊急時の対応、関係者への連絡・相談などの対応マニュアルを作成し、各関係先に配布しています。
- ④ 体験場所や平時の危険箇所、災害時の安全対策に努めています。
- ⑤ 民泊家庭には、食事・入浴・トイレ・寝具等に係る衛生面に留意するよう指導・研修しています。
- ⑥ 民泊家庭の火災等の予防には万全を期すべく、ガス・ガソリン・灯油等の危険物管理に怠りなきよう指導しています。
- ⑦ すべての受け入れ家庭やインストラクターに対し、体験や民泊のほか、上記①～⑥に掲げる安全対策に関する講習受講を義務づけ、定期的にそれらの講習会を実施しています。
- ⑧ 安全管理には最大限の対策と指導を行っていますが、万一の場合に備え、傷害保険や賠償責任保険に加入しています。

施設賠償責任	対人 1名1億円（1事故1億円） 対物 1事故1,000万円
生産物賠償責任	対人 1名1億円（1事故1億円） 対物 1事故1,000万円
受託物賠償責任	対物 1名3万円（1事故10万円）

- ⑨ 送迎等において、自家用車に乗車の場合は、当該車両の自動車保険にて対応しています。
- ⑩ 上記①～⑨に掲げる安全対策は「一般社団法人 その郷」が責任を持って対応しています。



防災気象情報の発表時の対応について

【そらの郷】の多数の民泊家庭は急峻な傾斜地にあり、台風や豪雨時の滞在は言うに及ばず、とりわけ、山間部道路の移動には大きな危険をともないます。教育旅行は旅行業法上『手配旅行』に分類され、旅行実施の可否については旅行者の意思が反映されますが、教育旅行という性格上、十分な安全を担保することが最優先であると【そらの郷】も認識しています。当地教育委員会や学校の気象警報等の発表時の措置を参考に【そらの郷】は下記の対応を考えております。出発地サイドでの措置や経路上の通行障害等を合わせてご検討いただき旅行実施可否判断の参考としてください。

1. 対象とする防災気象情報特別警報、暴風警報、
2. 対象とする地域美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町（以上民泊エリア）
3. そらの郷の対応

タイムスケール	民泊到着日の場合	民泊滞在中の場合
午前6時現在発令中	出発地で可否決定まで出発待機	民泊家庭で待機
午前8時まで解除	民泊受入可能	受入継続
午前8時現在発令中	旅行中止を提言	民泊家庭で待機 又は避難所へ移動
午前中に発令が予想される場合	旅行中止を提言	早発し、次の目的地 又は安全地へ移動。
滞在中に発令が予想される場合	旅行中止を提言	早発し、次の目的地 又は安全地へ移動。

- ① 異常気象時は民泊家庭や人数の変更、一般宿泊施設の利用などをお願いする場合があります。
- ② そらの郷事務局は各関係者と連絡を密にし、決定事項は速やかに伝達することに留意します。

4. 屋内退避勧告を伴う大気汚染情報発令時は、屋外民泊体験は中止とします。

一般社団法人そらの郷

事務局体制図

社員：行政、観光、商工、
農業団体、交通事業者など
計34団体

社員総会

理事長、副理事長2名
理事20名 監事2名 顧問2名

理事会

事務局

総務

事務局長
参与、次長、会計

教育旅行



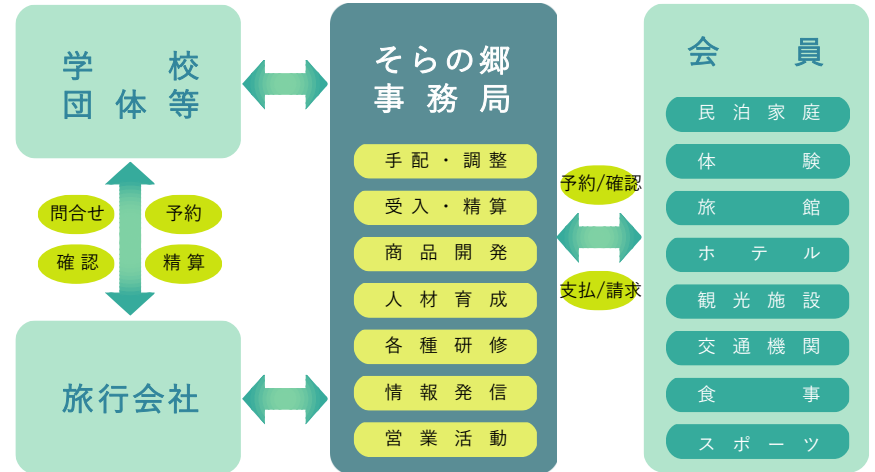
課長（リーダー）
コーディネーター、プロパー

インバウンド/一般



部長（リーダー）
課長補佐1名、係長2名、主事1名、臨時1名

名 称	一般社団法人そらの郷
所 在 地	〒778-0005 徳島県三好市池田町シマ995番地1
代 表 者	理事長 松浦 敬治 (東みよし町 市長)
事 務 局	事務局長、事務局次長、部長、課長、課長補佐、 係長、主事、コーディネーター、事務局員 (観光地域づくりマネージャーほか)
旅 行 業 登 録 番 号	徳島県知事登録旅行業第2-148号
主 な 事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験型教育旅行の誘致・受入れ体制整備と実施 ・ 一般客向け着地型旅行商品の企画開発、販売、 促進、流通 ・ 特産品の企画開発、販売 ・ 旅行業法に基づく旅行業 ・ 広域観光振興事業の実施 ・ 公共的施設の管理受託 ・ その他



- 平成07年 関東の公立農業高校受入(旧三好郡山城町)
- 平成10年 関西の公立中学校体験学習受入
- 平成19年 2月 そらの郷山里物語協議会設立
- 平成20年10月 観光圏認定
- 平成21年 4月 東みよし町加入
- 平成22年 3月 美馬市・つるぎ町加入
- 平成23年 2月 一般社団法人そらの郷設立
(観光地域づくりプラットフォーム)
- 平成23年 4月 にし阿波(二市二町)にエリア拡大して受入開始
- 平成25年 5月 新観光圏認定
- 平成28年 5月 日本版DMO候補法人登録
- 平成28年11月 食と農の景勝地認定
- 平成29年11月 日本版DMO登録【第1弾】
- 平成30年11月 国土交通省 地域づくり表彰受賞
- 令和02年03月 オーライ!ニッポン大賞「内閣総理大臣賞」受賞
- 令和02年06月 地域ESD活動推進拠点登録
- 令和03年02月 ローカルSDGs 四国加入



無断複製・転載はお断りします。写真等のご使用は「その郷」までご連絡ください。

TEL.0883-76-0713 / FAX.0883-72-0753
【ホームページ】 <http://nishi-awa.jp/soranosato>
【Email】 sora-yamazato@nishi-awa.jp

〒778-0005 徳島県三好市池田町シマ95番地1

一般社団法人 その郷
徳島県知事登録旅行業第2-148号

〈お問い合わせ・申し込みは〉

